



Crosswork Cloud のトラブルシューティング

- [Crosswork Data Gateway 接続のトラブルシューティング \(1 ページ\)](#)

Crosswork Data Gateway 接続のトラブルシューティング

次の手順は、Crosswork Data Gateway と Crosswork Cloud の接続の問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。

手順

- ステップ 1** メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックしてから、接続を確認する Crosswork Data Gateway をクリックします。
- ステップ 2** [接続 (Connectivity)] フィールドに [セッションアップ (Session Up)] と表示されていることを確認します。
これは、Crosswork Data Gateway がクラウドに接続されていることを示します。
- ステップ 3** Crosswork Data Gateway にリンクされているデバイスが少なくとも 1 つあることを確認します。
- ステップ 4** メインウィンドウで、[デバイス (Devices)] をクリックし、Crosswork Data Gateway にリンクされているデバイスをクリックします。
- ステップ 5** [ステータス (Status)] タブをクリックします。
- ステップ 6** Crosswork Cloud と Crosswork Data Gateway の間の接続リンクが、接続が機能していることを示す緑色になっていることを確認します。
接続リンクが、エラーがあることを示す赤色の場合、Crosswork Data Gateway はクラウドに接続されていません。
- ステップ 7** SSH を使用して、ユーザー名 **dg-admin** と Crosswork Data Gateway のインストール時に指定したパスワードで Crosswork Data Gateway にログインします。
- ステップ 8** Crosswork Data Gateway メインメニューに移動し、[バイタル (Vitals)] > [コントローラ到達可能性 (Controller Reachability)] を選択し、確立されたセッションがあることを確認します。これにより、Crosswork Data Gateway がデフォルトゲートウェイと DNS サーバーに到達できることが確認されます。

コントローラの到達可能性テストが失敗した場合、次のいずれかの問題が原因である可能性が高いです。

- Crosswork Data Gateway からインターネットにアクセスできるようにルーティングが正しく設定されていない。
- Crosswork Cloud と Crosswork Data Gateway の間のファイアウォールが通信を妨げている可能性がある。ファイアウォールの構成で `cdg.crosswork.cisco.com` および `crosswork.cisco.com` が許可されていることを確認します。
- Web プロキシが通信を妨げている可能性がある。Web プロキシがある場合は、Crosswork Data Gateway のインストール時に必要な情報を設定しておく必要があります。Crosswork Cloud と Crosswork Data Gateway の間の通信を許可するように、Crosswork Data Gateway を再インストールして Web プロキシを設定します。

ステップ 9 Crosswork Data Gateway メインメニューから [Docker コンテナ (Docker Containers)] を選択し、次のいずれかのイメージが表示されていることを確認します。

- Crosswork Cloud Trust Insights の `cti-image`
- Crosswork Cloud Traffic Analysis の `cti-image`

これにより、Crosswork Data Gateway は Crosswork Cloud から必要なイメージをダウンロードできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。